

会 議 録

会議の名称	平成31年度 第1回 藤岡地域会議
開催日時	平成31年4月23日午後6時30分開会・午後7時52分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	<p>(1) 「栃木市立小中学校適正配置基本構想」について（教育総務課報告）</p> <p>(2) 平成31年度藤岡地域会議開催日程について</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手数料の見直しについて（財政課情報提供） ・栃木市市民会議委員の継続確認について ・栃木市子ども・子育て会議委員変更について ・栃木市斎場再整備検討委員会委員の推薦について ・平成31年度藤岡地域会議だより発行予定表について ・地域予算提案事業予算について
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
○事務局 ◎A委員	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 総合政策部小保方部長からあいさつがあった。</p> <p>3 自己紹介 資料1の名簿順に出席委員の自己紹介があった。その後、事務局職員の自己紹介があった。 ここで、次の2つの事項について、委員に対して異議の有無を確認し了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の地域会議時の席順は、資料1の名簿順で配置する。 ・会議録について、要旨のみを記載し議事録署名人は指定しない。 <p>4 正副会長選出 選出方法について意見を求めた。 指名推薦の方法により、会長に神原邦夫委員を、副会長に片柳理光委員を推</p>

○事務局	<p>薦させていただく。</p> <p>事務局から委員に対し異議の有無を確認した。</p> <p style="text-align: center;">— 異議なし —</p>
○事務局	<p>神原委員、片柳委員ともに就任に同意したため、会長に神原委員、副会長に片柳委員が就任する旨を述べた。</p> <p style="text-align: center;">— 正副会長は正副会長席へ移動 —</p> <p>就任にあたり神原会長と片柳副会長からあいさつがあった。</p>
	<p>5 議事</p> <p>(1)「栃木市立小中学校適正配置基本構想」について（教育総務課報告）</p> <p><説明></p>
◎会長	<p>担当課に対し、協議事項の説明を求めた。</p>
○教育総務課	<p>資料に基づいて説明した。</p>
	<p><質疑・意見等></p>
◎B委員	<p>資料4ページの栃木市「まち・ひと・しごと創生総合戦略の展望推計」（市展望推計）による数字と国立社会保障・人口問題研究所による人口推計（社人研推計）による数字にはかなり開きがあるようだが、どのような理由か。</p>
○教育総務課	<p>社人研推計の数字は、このままの状態将来に向かって進んでいった場合の数字であり、市展望推計は、栃木市として人口を増やすためのさまざまな政策を行い、対策を講じていくとこれくらいになるだろうという期待も含んだ数字である。</p>
◎C委員	<p>小規模特認校制度を導入しているが実質的にあまり効果がないということだが、どの程度のPRをしているのか。それから、平成29年度から行われてきた小中一貫教育の取組み内容について伺いたい。</p>
○教育総務課	<p>栃木市では4小学校で小規模特認校制度を取り入れてきた。これまでに、市全体で説明会を開催するとともに、当該4校すべてのパンフレットを作成して市内全幼稚園・保育園に配付してきた。</p> <p>また、小中一貫教育の取組みについてであるが、従来行ってきた小中連携をより進め、小中一貫として小・中学校の先生が計画的に会議を行い、1年間の中で生徒同士、先生同士が交流を行っている。また、小学校と中学校の学校運営協議会を合わせ、それぞれの地域の中で9年間をかけて子供たちをどのように育てていくか目標を立て、取組み始めているところだ。</p>
◎C委員	<p>統合・再編成に向け、藤岡第二中学校は具体性があると聞いているが、学校運営協議会について、一中と二中の関係をどのように考えているのか。</p>
○教育総務課	<p>学校統合の準備段階で、学校運営協議会も一中と二中を合わせることはもちろん、小学校から中学校への接続もしていかなければならない。今の段階で、統合に向けて一中と二中の生徒同士が統合前から交流できるよう、各学校に計画を立ててもらっている。また、部屋小学校が二中と一緒にやってきている特色ある活動があるが、統合校に取り入れることができるかをこれから検討していただくことになる。統合準備会の中で、特色ある良い活動は残してもらいた</p>

	<p>いという要望があるので、小中の接続がうまくいくよう配慮して進めていきたい。</p>
◎会長	<p>地元代表協議会で統合の合意が済み、統合準備会が立ち上がっているが、具体的に何年度を目標に統合を実施するというスケジュールは決定しているのか。</p>
○教育総務課	<p>2021年4月の統合を目標にすると記載した「統合準備会だより」を昨年末までに藤岡地域内に配布した。その後、当事者である保護者やお子さんから不安だというご意見があり、今年2月の統合準備会において1年延ばしの2022年4月という話になった。それを受け、部屋小学校の保護者を対象に説明会を開催し、3月22日付で小中学校の保護者に2022年4月統合目標で進めることをお知らせした。現在、学校指定品について話を詰めてきており、5月中に作業部会で検討していただいたものを6月から7月に統合準備会で示し、そこで検討したものを「統合準備会だより」でお知らせしていく予定だ。</p>
◎会長	<p>他に質問等が無いので、次の議題に入ることを述べた。</p> <p>(2) 平成31年度藤岡地域会議開催日程について <説明></p>
◎会長	<p>事務局に対し、協議事項の説明を求めた。</p>
○事務局	<p>資料に基づいて説明した。</p> <p style="text-align: center;">— 質疑なし —</p>
◎会長	<p>平成31年度藤岡地域会議開催日程について、資料のとおり開催することによろしいか。</p> <p style="text-align: center;">— 異議なし —</p>
◎会長	<p>次の議題に入ることを述べた。</p> <p>(3) その他</p>
◎会長	<p>・手数料の見直しについて (情報提供)</p>
◎事務局	<p>事務局に対し、説明を求めた。</p>
◎事務局	<p>市では、今年10月に予定されている消費税10%への税率改正時に合わせて、消費税の適正な転嫁及び受益者負担の適正化を目的とした「使用料・手数料見直し方針」を昨年12月に策定した。この度、手数料の見直し内容がまとまったため、参考として財政課から情報提供されたものである。</p>
◎会長	<p>次の議題に入ることを述べた。</p>
◎会長	<p>・栃木市市民会議委員の継続確認について</p>
◎事務局	<p>事務局に対し、説明を求めた。</p>
◎事務局	<p>新年度を迎えるにあたり、総務課から委員の継続確認が来ている。任期は今年の9月30日までで、現在は神原委員にお願いしている。</p>
◎会長	<p>今年9月末までの任期があるため、引き続き私がお引き受けすることによろしいか。</p>

◎会長	<p style="text-align: center;">— 異議なし —</p> <p>事務局に所定の手続きをするよう伝えた。</p>
◎会長	<p>・栃木市子ども・子育て会議委員変更について 事務局に対し、説明を求めた。</p>
○事務局	<p>子育て支援課から、委員の継続確認が来ている。任期は今年の9月30日までで、現在は野澤委員にお願いしている。</p>
◎会長	<p>今年9月末までの任期があるため、野澤委員に引き続きお願いしたいと考えているがいかがか。</p>
◎会長	<p style="text-align: center;">— 異議なし —</p> <p>野澤委員、引き受けていただけるか。</p>
◎会長	<p style="text-align: center;">— 野澤委員了承 —</p> <p>事務局に所定の手続きをするよう伝えた。</p>
◎会長	<p>・栃木市斎場再整備検討委員会委員の推薦について 事務局に対し、説明を求めた。</p>
○事務局	<p>斎場整備室から委員の推薦依頼が来ている。前委員の山士家光幸さんの委嘱期間が平成30年11月12日までとなっていたので、新たな任期での委員の推薦をお願いしたい。なお、会議は平日昼間の開催で、年数回を予定しているとのことである。</p>
◎会長	<p>どなたかご協力いただける方はいらっしゃるか。</p>
◎会長	<p style="text-align: center;">— 立候補者なし —</p> <p>立候補がないため、私から推薦させていただく。片柳委員にお願いしたいと思うが、引き受けていただけるか。</p>
◎会長	<p style="text-align: center;">— 片柳委員了承 —</p> <p>事務局に所定の手続きをするよう伝えた。</p>
◎会長	<p>・平成31年度藤岡地域会議だより発行予定表について 事務局に対し、説明を求めた。</p>
○事務局	<p>今年度も地域会議における協議事項や結果、委員の皆様の活動の様子、地域内の様々な出来事など、地域のまちづくりに関する話題を幅広く住民の皆様にお知らせする手段として藤岡地域会議だよりを作成し、予定表（案）のとおり発行していきたいと考えている。地域の話題等について、委員の皆様からの情報提供をお願いしたい。</p>
◎会長	<p>・地域予算提案事業予算について 事務局に対し、説明を求めた。</p>
○事務局	<p>地域会議の主な役割は、地域の課題解決のために市へ提案することや市の問いかけに対して意見を述べることで、もう一つが一定の枠内で予算の使い道を市長へ提案できること、つまり地域予算提案制度である。市では、昨年度から地</p>

	<p>域自治制度の検討部会を設置し、制度の見直しを進めている。今年度の藤岡地域の地域予算提案限度額は286万6千円となったが、来年度事業実施分から、毎年実施と隔年実施が各センター・地域会議ごとに選択できるようになった。毎年実施は、今までと同様、今年度限度額内の事業計画書を策定して来年度に事業を実施するもの。隔年実施は、単年度分では予算限度額を超えてしまうような事業を計画する場合、例えば来年度は事業を実施せずに、2年分の地域予算提案限度額573万2千円での枠内で来年度に事業提案し、再来年度に事業を実施するというものである。市の予算編成までの過程の都合上、遅くとも5月までにはどちらかを選択しなければならないため、本日の会議でのご協議をお願いします。</p>
◎会長	<p>参考までに、毎年実施と隔年実施のメリット・デメリットについて事務局から説明いただきたい。</p>
○事務局	<p>地域予算提案の枠は300万円弱となっている。他の地域において、300万円では実施困難な事業を計画しようとした場合、どうにかならないのかというご意見があった。そこで、限度額自体を上げることは難しいため、2年分をまとめて提案できるが、その代わり1年間は事業を実施せずに見送るという選択ができるようになった。毎年実施というのは、従来どおり、毎年次年度分の事業計画書を作成することで、次年度には自分たちが提案した計画が形になって見えてくる。一方で隔年実施の場合、今年度提案を見送ることによって来年度は事業を実施しないことになり、その場合、デメリットとして地域会議委員の皆様は任期中に何も形として残らないということがある。また、事業規模が大きい分、委員さんと担当課の負担が大きくなるということもデメリットと言える。</p>
◎D委員	<p>今の件だが、どのような事業をやった方が良いというような計画が既にできているのか。</p>
◎会長	<p>その計画をどうするかについて、これから話し合っていくということになる。皆さんから地域の課題ということで文書にさせていただいたものを基に、7月くらいまでにはだいたいまとめていくことになると思う。</p>
○事務局	<p>今回は、委員さんが改選となりスタートが遅れるため、8月末頃が目安になるが、その件については、この後、説明をさせていただく。</p>
◎会長	<p>私見ではあるが、本来、地域予算提案制度の趣旨というのは、地域のことはできるだけ地域でということ、市では気づかないような事業を地域住民の立場から提案していくというものである。確かに2年分の予算があれば大きな事業ができると思うが、本来、大きなお金がかかる事業は行政で実施すべきであると思う。これまで地域予算提案制度で実施してきたものも身近なものであり、本来の地域予算提案制度の趣旨から、私は毎年実施が良いと思っている。</p>
◎会長	<p>このことについて、ご異議はあるか。</p>
	<p>— 異議なし —</p>
◎会長	<p>では、藤岡地域会議は、毎年実施ということで決定する。</p>

◎E委員	今の話は、地域予算の件での回答であったと思うが、地域会議から行政の方に答申をして実施した事業の実例はあるか。
○事務局	地域予算提案制度では、例えば平成29年度に提案して平成30年度に実施した事業として、藤岡駅ホーム西側への「渡良瀬遊水地案内看板掲出事業」、渡良瀬運動公園内子どもの広場にベンチ・テーブルを設置する「渡良瀬運動公園憩いの場設置事業」、県道蛭沼川連線沿いの既存看板をリニューアルする「観光案内看板整備事業」及びわたらせふれあい農園で野菜の栽培教室や農園パンフレットを作製する「わたらせふれあい農園整備・利用者支援事業」を287万円の予算の中で実施した。これらを参考に、来年度どのような事業を実施すべきかを5月から皆様に協議していただくようお願いする予定である。
◎会長	E委員は、地域予算提案制度で実施したものではなく、市に陳情等をして実施された事業があったかを質問しているものと思う。例えば、ハートランド城の改修については、そのようなことが多少あったのではないか。以前、スポーツふれあいセンターがあまり利用されていない状況だったが、それを何とかできないかという話が地域会議で出ていたと聞いたことがあった。
○事務局	地域会議の中ではなく、地域協議会の中でそのような話があったものと思われる。
◎会長	ハートランド城の改修については、その前の段階で多くの方から意見が出ていて、それが多少取り上げられて改修にこぎつけたのではないかと私は思っている。
◎会長	以上で次第5の議事については終了とする。
○事務局	<p>6 その他</p> <p>事務局から以下の5点について連絡した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域会議委員の報酬」について ・「藤岡地域会議だより・地域会議委員就任にあたっての抱負」の記入について ・「藤岡地域の身近な課題について」の記入について ・「第6回地域会議会議録の写し」について ・「平成31年度藤岡地域まちづくりセンター緊急連絡先」について
○事務局	次回の地域会議は、令和元年5月28日（火）午後6時30分から同会場で行う予定である旨を連絡した。
○事務局	<p>7 閉会</p> <p>午後7時52分をもって第1回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。</p>

別紙1 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長 神 原 邦 夫
委 員 青 木 雅 之
委 員 上 岡 裕美子
委 員 星 野 清
委 員 野 澤 和 子
委 員 大 澤 孝 子
委 員 山土家 裕 子

副会長 片 柳 理 光
委 員 岡 弘 樹
委 員 福 地 克 人
委 員 横 田 久 雄
委 員 松 島 宏 惠
委 員 早乙女 順 子

欠席者（委員）

委 員 前 田 智 史 委 員 町 田 佳 子

出席者（事務局）

総合政策部藤岡地域づくり推進課（藤岡地域まちづくりセンター）

佐 山 厚 子（課長）

寺 崎 公 夫（主幹兼地域づくり推進係長）

亀 田 ミユキ（主査）

山 田 智 弘（主事）

出席者（担当課）

教育部教育総務課

江 面 健太郎（課長）

毛 塚 修 一（主幹）